

京都ビルメンニュース KBMA



発行：公益社団法人京都ビルメンテナンス協会 〒612-8419 京都市伏見区竹田北三ツ町45番地 アイビー・ビル2A
TEL 075-606-1258 FAX 075-606-1259 ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>
編集：広報委員会 委員長 山下耕平 2026年2月発行

第19回 こども絵画コンクール 京都協会賞 銀賞 作品のご紹介

●新年の「じあい」さつ

▼京都ビルメンテナンス協会 新年大同賀詞交歓会 開催
▼第23回アビリンクピック京都大会 開催



【幼児の部】

「かにさんがごみを宝石にする」
斎藤 史帆(6才)
(株) 淨美社



【1、2年生の部】

「歌の力で」
斎藤 茜絵(2年)
(株) 淨美社



【3、4年生の部】

「リモコンですべてのそうさをする」
板坂 真央(4年)

近建ビル管理(株)



【5、6年生の部】

「きれいな街にやさしい未来」
杉本 樹衣菜(6年)
双葉メンテナンス工業(株)



こども絵画コンクール
京都協会賞の受賞作品はこちら



公益社団 法人 京都ビルメンテナンス協会

未来に向けて輝き続ける京都づくりに挑戦

にしわき
京都府知事 西脇 隆俊 たかとし

あけましておめでとうございます。府民の皆さんにおかれましては、つがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」の開催を通じて、多くの方に京都の伝統から革新までさまざまな魅力に触れていただきました。また同時に、文化庁の京都移転から3年目を迎える、国と協力して新しい文化政策を京都から創り上げ、世界に向けて発信できたことにより、改めて、京都の文化力の奥深さを再認識する機会ともなりました。

「美しい花を咲かせ続けるには、停滞することなく、変化し続けなければならない」。これは、室町時代に能を大成した世阿弥が「風姿花伝」に残した後人への心得です。当時の大衆芸能であった猿楽を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きました。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育てあげてきた、かけがえのない財産であり、国内外から多くの方が訪れる京都の魅力の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容れ、常に技術の進歩を人々の幸せにしなやかに結び付ける文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっています。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人との絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、府民の皆さまが、未来を担う子どもたちをあたたかく育みながら、将来に向かって夢を抱いていく、「あたたかい京都づくり」を実感いただけるよう、取り組んでまいります。

私たちが生きる現代は、人口減少・少子高齢化に加え、気候変動やAIによる技術革新など、大きな変革期にあります。先行きを見通せない今こそ、京都の魅力を支える府民の皆さまや京都を訪れる多彩な人材と共に、先人から引き継いだ京都の魅力の源泉を磨き上げてまいります。そして、今年の干支「午」が象徴する、飛躍し、力強く前進する馬の如く、直面する課題を一つずつ乗り越えながら、前へ前へと絶えず成長を続ける、輝き続ける京都を実現してまいりたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会 開催

2026年1月10日（金） ウェスティン都ホテル京都

2026年、年頭を飾る恒例の(公社)京都ビルメンテナンス協会新年賀詞交歓会が、1月9日(金)ウェスティン都ホテル京都において、西脇京都府知事・松井京都市長を始め多くの来賓並びに会員企業のご列席を賜り、盛大に開催されました。

昨年末にご逝去されました大阪ビルメンテナンス協会副会長、近畿地区本部長の北川卓様への黙祷を行い、藤井会長から年始の挨拶として日頃の委員会活動への感謝の意と会員拡大100社を目標に活動を続けていくと一層の意欲と紹介に対するお願いがあり、京都協会として益々の事業の充実を図っていく旨の挨拶がありました。



また、京都政治連盟山口理事長からは、来る京都府知事選において京都政治連盟、京都協会として現西脇知事へ出馬要請の手交を行いました。

続いて西脇京都府知事、松井京都市長はじめ、京都労働局、ご来賓の国会議員、府会議員、市会議員の方々より障がい者の就労支援に対する取組や、アビリティックにおける顕著な成績など、日頃の京都協会の積極的な活動や取組に対する感謝の意を始め、祝辞を賜りました。新入会員の紹介では(有)Rashiku、(株)マックスティート、(株)ライトクリーンが正会員に、(株)光輝設備、(株)グローバルが準会員として、(株)日本トリムが賛助会員としてそれぞれの代表者から入会の意気込みがあり、最後に全国協会中野副会长より全国会員大会広島大会のPRと乾杯の発声を頂き華々しく開演いたしました。今年多くの方々にご参加を頂き、お互いに名刺交換や挨拶をかわしながら、一年の健闘を誓いました。中締めの挨拶は京都協会渡守副会长より一年の願いをこめた力強い言葉があり、協会並びに会員各社の益々の繁栄を祈念して、今年の賀詞交歓会はお開きになりました。

記事:山下耕平 広報委員会

京都の理想の実現に向けて歩み出す一年に

まつい こうじ
京都市長 松井 康治

あけまして、おめでとうございます。

皆様にとって素晴らしい一年となりますことを、心からお祈りいたします。

さて、昨年末に、京都が千年以上にわたり継承してきた自然、歴史、文化などの「まち柄」を確認し、世界と日本、そして京都の現状を踏まえ、2050年を展望した京都のまちの羅針盤となる「京都基本構想」を策定しました。この構想は、京都の各分野を代表する方々、高校生や大学生をはじめ、25年後の京都でオピニオンリーダーになるような若い方々など多くの市民の皆様と、京都のまちが未来に向けて何を大切にすべきかについて意見を出し合い、議論を重ねた結晶です。

今後はこの構想の理念や価値観を拠り所に、「新京都戦略」を改定するなど、具体的な政策を展開していくなければなりません。京都では長い都市の歴史の中で、祇園祭をはじめとする年中行事や、人間の極致を体現する伝統産業や芸能、そして自然と共生する暮らしの文化が育まれてきました。これらを支えてきたのが、文化芸術、学問、産業、歴史、スポーツ、地域活動など、京都のあらゆる分野で技藝や技能を有し、人を惹きつける磁力を持つ方々、いわば「京都学藝衆」です。これらの方々の技や経験、想いを次の世代へと大切に伝えていくことが地域や国内外の人々から愛される唯一無二の価値を持つ京都の未来につながります。



京都市といたましても、公園や図書館といった公共空間をもっと市民の皆様に開き、未来を担う子どもたちや若者が、市井に息づく豊かな知恵や学藝に触れる機会を創出し、「夢中」と「感動」が溢れるまちを実現してまいります。

そして、文化芸術、ものづくり、自治の伝統など京都の強みを生かし、若者の起業支援や新産業の創出、企業誘致などの取組を推進し、多彩な人々が交ざり合い、新たな価値を創造し、日本中、世界中の人々から、住みたい、働きたい、活躍したいと思われ、選ばれるまちを目指して様々なチャレンジを重ねてまいります。

新たな四半世紀に向けたスタートとなる今年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。物事を力強く前進する意味が込められています。様々な課題を乗り越え、今日の京都の発展を築いてこられた先人の心意気を大切に、誰もが幸せを感じ、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できる。そのような京都の理想の実現に向け、力強い一步を踏み出してまいります。

第23回 アビリンピック京都大会

2026年1月31日(日) 京都府立高等技術専門校

令和8年1月31日(土)に「第23回 アビリンピック京都大会」が京都府立京都高等技術専門校にて開催されました。当協会は後援団体として支援をしており、当日は藤井会長をはじめ森担当副会長を中心に公益事業委員会が当日の準備と審査員として参加しました。この大会ではビルクリーニング競技だけでなくオフィスアシスタントや喫茶サービスなど全13種目で競技が行われました。ビルクリーニングの種目では会場内に設けた模擬オフィスでビルクリーニングの基本動作として「弾性床清掃及び机上清掃」と「カーペット床清掃」の2項目を効率よくムダがない確実な技術をポイントに競技を行っております。競技がはじまる前の数分は選手の皆さんは勿論のこと、選手の保護者、先生方、当協会公益事業委員会の面々も緊張の面持ちがありました。選手の保護者、先生方は競技を控えている選手に対し、励ましの言葉をかけておられ、その言葉に応えるかのように選手の皆さんには日頃の練習の成果を発揮すべく全力で競技がはじまりました。「清掃作業はじめます!」の開始の声が会場に響き渡り、選手の皆さんには緊張と真剣な表情で競技に集中し日々の練習の成果を存分に発揮できたのではないかと思います。

今後もアビリンピック京都大会をビルクリーニングの種目をとおして技術の向上と、業界の発展のため京都ビルメンテナンス協会として尽力して参りたいと思います。当されました公益事業委員会の皆様大変お疲れ様でした。引き続き全国大会に向けて指導、バックアップをお願いいたします。

令和8年に愛知県で開催されます第46回全国アビリンピックは12月4日金曜日から6日日曜日の日程で開催を予定されています。京都府代表として出場されます選手の応援に多くの方のご参加、ご来場をお願いします。

競技結果

金賞(最優秀賞) 南雲 琉那(京都府立南丹支援学校)

銀賞 高瀬 横(京都府立井手やまぶき支援学校)

銅賞 土橋 煌太(三菱自動車ウイング株式会社京都事業所)

努力賞 西尾 奏海(京都市立鳴滝総合支援学校)



記事:公益事業委員会 田中

新年のご挨拶

公益社団法人
京都ビルメンテナンス協会 会長

藤井 忍



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新年をすこやかにお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。又、協会員の皆様には平素より協会運営にあたり格別のご理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年度はおかげさまで、すべての事業を無事に終えることが出来ました。協会員の皆様・事務局に改めてお礼を申し上げます。報告をいたしましては、各委員会が様々な工夫をこなした取組を考え、沢山の事業を開催してくれました、本当にご苦労様でした。そして昨年度も 11 月に愛知県で行われました、第 45 回全国アピリンピック技能競技大会においては、ビルクリーニング部門で京都府代表の中丹支援学校、後卒業で、株式会社 GS ユアサソシエに所属されておられます、佐藤大仁さんが、全国上位入賞という輝かしい成績を収められました、あと 1 歩メダルには届きませんでしたが、全般的にハイレベルな競技の中で素晴らしい技能を披露してくれました。そして二年前より京都協会だけではなく、近畿地区の各協会とも、タッグを組んで、近畿からアピリンピック技能大会で好成績を收めようと取り組みました。

大阪協会で会場をお借りして、近畿地区での合同練習などを行い各地区での代表選手が好成績を收めました。

本年度もビルメン業界の発展の為にも、近畿地区一丸となってアピリンピック技能大会に臨みたいと思います。

そして、昨年度は新しい仲間が 6 社増えましたが、協会員の増強はまだ目標には至りません、元気ある京都協会を目標に、改めて、協会員の皆様にご理解と御協力をお願い致します。

そして協会情勢ですが、日本経済の景気は上向きになっている申しておりますが、ビルメン業界は大変厳しいのが現況です。最低

賃金の上昇・材料費の高騰・人材不足と問題は山積しております、当協会をいたしましては、こうした時代の要請にこたえるべく、技術力とサービス、品質のさらなる向上、人材育成の充実、会員企業相互の連携強化に努め、業界全体の持続的な発展を目指して参ります。

2026 年は 午 年でございます。馬は古来より、人と共に歩み、力強さや誠実さ、そして前へ前へと進む行動力の象徴とされてまいりました。又物事が円滑に進む【うまくいく】という言葉にも通じ縁起の良い年ともいわれております、ビルメン業界におきましても、日々の着実な積み重ねこそが信頼につながり、社会を支える原動力となっております。午年にあやかり会員の皆様と力を合わせて前向きに進めてまいりたいと考えております。本年が皆様にとりまして、【うまくいく】実り多き一年となりますことを心より祈念申し上げます。願い事ばかりで申し訳ございませんが、本年度も元気ある京都協会で進んで行きたいと思っておりますので宜しくお願ひ致します。

最後に、皆様のご健勝・ご多幸・ご繁栄と世界平和を重ねて祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

入会のご挨拶

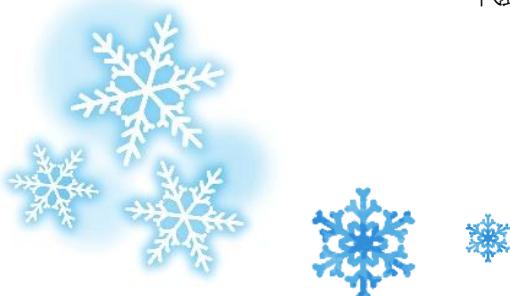
株式会社グローバル 2026 年 1 月 入会

このたび、公益社団法人京都ビルメンテナンス協会に入会のご承認を賜り、誠にありがとうございます。

株式会社グローバルは、京都市を拠点に、施設警備・交通誘導警備・細密警備を中心として、地域社会の安全と安心を支える警備業務を展開してまいりました。創業以来三十年以上にわたり、警備業法をはじめとする関係法令の遵守と、警備員教育の徹底を重視し、信頼される警備体制の構築に努めております。

今後は本協会での研鑽および会員各位との連携を通じ、警備・ビルメンテナンス業界全体の発展と、より安全で快適な都市環境の形成に貢献してまいる所存です。何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社グローバル
代表取締役 川島 忠義



おすすめの1冊

京都ビルメンテナンス協会
副会長 森田 清孝



ここ最近、読書はほとんどできていません。

鞄の中には赤川次郎の夫は泥棒、妻は刑事シリーズでした。

赤川次郎作品は気軽に読めるので、三毛猫ホームズからはじまり、数多く読んできたと思います。今回の本も、今野敏の警察シリーズにくらべ、警察組織を全く無視した大胆かつ無謀な女刑事と、隠された才能をもつスマートな泥棒の夫が事件を解決していく物語で、気軽に読めるので頭をリフレッシュしてくれると思います。娘に勧められた望月麻衣の寺町三条のホームズシリーズは、あいかわらず発行を待って読んでいます。望月麻衣は京都出身の作家らしく、少し少女っぽいですが、京都を題材にした探偵小説のようなもので、京都に関する習慣や名所旧跡、その由来などが所々に紹介されるので勉強にもなるとのことです。京都を知りたい方は一度読んでみてはいかがでしょうか。

労働災害発生レポート



安全衛生委員会
酒部浩二

冬季は空気が乾燥し、暖房機器の使用増加や電気使用量の増加により、火災が発生しやすい時期です。ビルメンテナンス業務では直接火を扱わない作業であっても、火災につながる危険が日常の中に潜んでいます。特に注意が必要なのは、清掃機器や電気設備の取り扱いです。延長コードのたこ足配線やコードの踏みつけ、劣化した電源プラグの使用は、発火やショートを引き起こし、火災の原因となる恐れがあります。また、充電式清掃機器を高温環境や可燃物の近くで充電することは、バッテリーの異常発熱や発火を招く恐れがあり、十分な注意が必要です。さらに、作業後にウエスやペーパー類を電気機器の近くに放置することも危険です。火災は一瞬の油断から発生し、人命や建物に甚大な被害を与えるだけでなく、事業の継続にも重大な影響を及ぼします。日常点検や作業前後の確認、整理整頓を徹底し、「火を使っていないから安全」という思い込みを捨てることが、火災防止の第一歩です。

■事故の型別 (2025年9月～2025年11月)

区分	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	倒壊	激突され	挟まれ 巻き込まれ	合計
人	0	2	0	0	0	0	1	
区分	切れ こすれ	有害物質	感電	交通事故	動作の 反動等	針刺し	その他	5
人	1	0	0	0	1	0	0	

■年齢階級別死傷者数

区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
人	0	0	1	0	3	0	1	5

■時間帯別発生件数

区分	～7時	～9時	～11時	～13時	～15時	～17時	17時以降	合計
人	1	0	0	0	2	1	1	5

■休業日数

区分	休業なし	3日以内	4日以上	15日以上	31日以上	91日以上	死亡	合計
人	3	0	0	1	1	0	0	5

Information (1月から3月の予定)

【公益事業委員会】

- アゼリンピック京都大会

1月 31日 京都大会

【総務厚生委員会】

- 新年合同賀詞交歓会

1月 9日 ウエスティン都ホテル京都

【国際貢献委員会】

- 相談対応

随時

【広報委員会】

- KBSA ニュース Vol. 112 (冬号) 2月発行



LINE アカウント
お友達登録
お願いします！

会員の変更事項

【新入会員】

- 株式会社グローバル 準会員 1/1付

【代表者変更】

- NISSHA ビジネスサービス株式会社

代表取締役 構口努 1/1付

会員情報確認のご提出にご協力いただき、
ありがとうございました。